

## ●VPD

### ■VPD ってなんのことでしょう？

VPD とは Vaccine Preventable Diseases の略で、その頭文字をとったものです。つまりワクチンで防ぐことができる病気のことをいいます。

### ■ワクチンで予防可能な疾患：

小児定期接種の麻疹（はしか）、風疹、水痘（水ぼうそう）などは特によく知られています。またインフルエンザの予防接種は毎年秋から冬にかけて小児から高齢者まで広く行われています。

| ワクチンで予防可能な疾患 |         |                |                 |
|--------------|---------|----------------|-----------------|
| A型肝炎         | B型肝炎    | 破傷風            | ジフテリア           |
| 百日咳          | インフルエンザ | インフルエンザ菌感染症    | 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） |
| 麻疹           | 風疹      | ヒトパピローマウイルス感染症 | 黄熱              |
| ポリオ          | 水痘      | 狂犬病            | 痘そう(天然痘)        |
| 結核           | 日本脳炎    | 髄膜炎菌感染症        | ロタウイルス感染症       |
| 肺炎球菌感染症      | コレラ     | 新型コロナウイルス感染症   |                 |

### ■ワクチンがなぜ必要か：

ワクチンは接種した本人の病気の発症を防ぎ、仮に感染しても重症化しないようにすることが目的です。そして自分の周囲の人々への感染を拡げないことが重要です。

### ■ワクチンの対象は：

小児から思春期～青年期（AYA 世代）、高齢者まですべての世代が生涯を通じてワクチン接種によって感染症を予防していく必要があります。中でも免疫力の低下する高齢者は感染症にかかりやすく、重症化リスクも高くなります。また様々な基礎疾患のある方も同様に注意が必要です。

### ■感染と抗体価：

麻疹や風疹は1度罹患すると、しっかり抗体ができ2度感染することはありません。しかし新型コロナウイルスは感染しても抗体価は少なく、2度感染することもあります。またコロナワクチンの予防接種を受けていても感染することがあります。それでも未接種の方と比べると、予防接種をした方はおおむね軽症です。ワクチン接種は①病気の発症予防②重症化の予防③周囲の人に感染を拡げないことに役立ちます。感染した場合のリスクと予防接種の副反応などを十分理解した上で、予防接種を受けてください。